

「後悔」

鶴城中学校 3 年 佐藤 光海

全校生徒 118 人の小学校から、全校生徒 808 人の鶴城中学校にたった一人で入学した自分にとって、教室はどう攻略していいかわからない迷路のようでした。誰も知らない中で友達をつくっていくことはとても難しかったのです。

少しずつ関わっていくことで、友達も増え、楽しいことが増えていきました。その反面、ふざけすぎたり、喧嘩をしたりすることも増えていきました。

そんな中、仲がよかったと思っていた友達が、裏では自分の悪口を何ヶ月も前から言っていたことがわかり、裏切られた気持ちがしました。信頼していたのにという思いが強かったため、その友達への嫌悪感は強くなっていったのです。

ストレス発散する意味もあって、相手の机を蹴ったり、筆箱の中身を壊したりしました。そんなことをしても気持ちは晴れません。しかし、その頃の自分は、友達を攻撃したり、物にあたったりすることでしか、もやもやした気持ちを解消できなかったのです。

そうしているうちに、相手の友達が、何日も学校を休むようになりました。また、学級の人たちが、自分と話すときだけ言葉を選んでいたり、警戒していたりする様子も見られました。だからこそ、自分も自然に話せない状況になっていきました。強いキャラをつくってしまっていた自分を変えたいと思っても、変えられない自分になっていました。

友達とうまく関われない自分のことを母親に相談しました。

「こんな自分を辞めたい。」「みんなと自然に対応したい。」

変わりたいと思う気持ちがあふれて、話しながらぼろ泣きしてしまいました。親からは、「小学校の時はみんなを笑わせられる明るい光海だったよ。それを取り戻していこう。」と励まされました。また、「感謝することを見つけていこう。」とも。

親に話して行動を変えようとしても、なかなかうまくいかず、イライラしたり、暴力で対応したりする日が続いていました。

ある日の授業中、渡り廊下にいたところを校長先生に見つかり、一対一で自分の行動を諭されたこともありました。「自分の姿を見つめなおせ。」とも言われました。

それから、クールダウンの方法を決めたり、うまくいかなかったときには、担任の先生と、何が駄目だったのか、どうすべきだったのかを確認したりするようにしました。それでも、トラブルになっていた友達の姿が教室にないことに、「どうにかしなければ」と思うものの後悔ばかりで、一歩踏み出せない自分がいました。

悶々としていたとき、学級レクリエーションがあり、「みんな楽しんどるけん、行こうぜ。」と誘ってみました。たまたま、彼と一緒に保健室にいた先生も、「うわぁ、いいやん。行ってこいよ。」と声を掛けてくれ、一緒に教室に行くことができました。この日から、彼が教室にいることが増え、少しずつ話せるようになったのです。

また、一つの目標も、自分を変えるきっかけになりました。それは、生徒会会長になりたいという目標です。

自分が中学1年生の時、生徒会長を中心として、3年生の先輩たちが、とても生き生きと学校生活を送っているように見えました。反面、今の鶴城中学校は、一人ひとりがあちこちを向いていて、自分さえよければいいという感じがしていました。前のような、みんながお互いを認め合い、居心地のいい学校にしたいという気持ちが湧いてきました。

それから、気持ちがざわつくときは、友達を攻撃しないようにその場を離れて心を落ち着かせるようにしました。うまくいくときもあれば、イライラが収まらず、物にあたって先生から注意されたりもしました。それでも、選挙活動中、多くの人たちが応援してくれました。「光海が生徒会長になったら、学校がおもしろくなる。」と言ってくれる人もいて、自分が変わったからみってくれる人が増えたのだと実感しました。

選挙の結果は残念でしたが、生活委員長に推薦され、活動するようになりました。新執行部の話し合いで「光海はガッツがあるし、みんなの前で発言する力があるから生活委員長を任せたい。」と推薦してくれたそうです。

今、全校集会など静かな状態で始められるよう、入り方や待ち方など、特に意識して支持を出すようにしています。全員がリーダーになるような、自分たちから進んで動ける鶴城中学校にしていきたいと考えています。

「変わりたい。」そう思ったとき、自分はいつでも受け身でした。うまくいかないことを人のせいにして、自分をみることができていませんでした。しかし、家族や友達、先生たちが、自分のことを思っていつてくれた言葉が、思いが、自分を支えてくれま

した。

「変わる」そう考えるようになってから、自分の意識が、行動が変わり、自分を取り巻く環境が変化していきました。今、中学校生活の経験が自分を大きくしてくれたと感じています。

後悔はいつまで経っても消えません。だから、自分から変わります。これからも。